

ゴミとしてのコンピュータ

総合情報処理センター副センター長 鷲田豊明(経済学部教授)

今から30年ほど前、私は田舎の小学生6年生か中学1年生だった。真空管ラジオを分解するのがとても好きだった。どこかに、5極スーパーヘテロダイナ受信機が捨てられていようものなら恍惚状態に陥ってしまった。

まず、そこに使われている真空管の種類をチェックした。そしてソケットから、大切に引き抜いた。トランスもとる。時には分解してPCBが含まれていそうな油紙もはずして、ニクロム線を全部回収した。それで隣の友人の家との間に電信の線を張ったりした。コンデンサーも抵抗もハンダコテでいねいに回収。バリャブルコンデンサーの芸術的な動きはいまでも脳裏に焼き付いている。そして、「ラジオの製作」かなんかに書いてある回路図で真空管ワイヤレスマイクを作った。ほとんどすべて、ラジオの部品で作成可能だった。マイクのかわりにスピーカー使った。それで、いとこの家のラジオまで電波を飛ばした。伝わった時の感動は忘れられない。

こんなラジオの分解と再生の面白さは今の少年には到底理解してもらえないようだ。さまざまな電気製品がわずかの小遣いで簡単に購入できることもある。粗大ゴミの日には、電気製品が無造作に捨てられている。それに群がる少年の姿など見たこともない。

電気製品のゴミのなかで、もっとも精密なのはコンピュータのゴミではないだろうか。私の少年の頃の感覚から言えば、このゴミは大変面白いものとなるはずである。しかし、大人になってしまった私は、これまでに自家用のコンピュータを2台も捨ててしまった。今家にあるのは3代目である。過去の2台は分解もせずに捨ててしまった。便利さを追ってしまった。子ども達も、見向きもしなかった。申し訳ない。合掌。

ところで、みなさんの研究室や事務室の倉庫などに使わなくなったコンピュータが置かれているのではないだろうか。コンピュータは壊れるというよりも陳腐化することによって捨てられる場合が圧倒的である。陳腐化させられるといったほうがよいかもしれない。そしてその結果として、今後コンピュータのゴミが日本に溢れる時代が来ようとしている。

まず、昨年のパソコンの出荷台数は推計で880万台である。これは、冷蔵庫や洗濯機、エアコンの出荷台数を抜き、テレビの年間出荷台数に匹敵する数字である。パソコンが何台廃棄されたかの見当たらなかったが、テレビ・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの年間廃棄台数の合計は2000万台になっている。そして、東京都の予測によると、2001年でエアコンの現在の廃棄台数を抜き、2005年にはテレビのそれを抜きさるといふ。すさまじい勢いで、コンピュータ廃棄物が増加することが予測されているのである。

現在、政府部内で廃家電のリサイクル法の制定が準備されているが、それは上記の主要な家電製品に限られパソコンは入っていない。パソコンは、ルールのないままにしばらくは無造作に廃棄され続ける。パソコンは、使用者が廃棄するとメーカーが回収、レンタル業者が回収、販売会社が回収、粗大ゴミとして自治体が回収というルートがある。上記のはじめの3者が回収した場合は、中古業者に渡されるものを除いては、処理業者が解体・分別する。一部は再資源化され、CRTやプラスチックなどは焼却・埋め立てである。自治体の場合は、破碎してダストとして埋め立てられるか、直接そのまま埋め立てられる。

しかし、焼却や埋め立てはいろいろ問題がある。有害物質の排出や漏出の可能性、さらには埋め立て処分場はもう枯渇目前という状況である。これだけの、廃棄物を同化する能力を狭い日本列島は持っていないのである。コンピュータをゴミとして捨てることは自然環境に確実に負荷を与えることを私たちは自覚しなければならない。

コンピュータは他の家電製品と著しく異なる特徴を持っている。それは、性能の向上が極めて速く、性能の多様化も猛烈に進んでいくことである。そのために、たとえ使えるもので、しかも作業の必要せいからみてさほど問題のないコンピュータが捨てられてしまうことになる。この点に、私たちは強い戒めを持たなければならないのではないだろうか。

大学としても、安易にコンピュータが捨てられることは避けなければならない。神戸大学が全体としてそこから発生する廃棄物・ゴミを減らす努力をしているとは思えない。私のところに伝わってきていないだけかもしれないが。現在、企業では環境マネジメントが叫ばれている。国際的標準であるISO14001の認証を得て、環境保全型の経営をしていることを示す努力が続けられている。大学も一つの事業所としてこのような動向に無関心であってはならない。神戸大学もISO14001の認証をとって環境保全システムを確立すべきだろう。そして、コンピュータも含め、あらゆる廃棄物の減量、リサイクル率の向上を目指すべきである。